

新人看護職員の皆さまへ



第4回

自律的な学びをサポートします！

新人看護職員の皆さまは、入職から約3カ月がたち、新型コロナウイルス感染症への対応や日勤業務を覚えながら、夜勤に入る方もいる時期ではないでしょうか。

本会では、看護を取り巻く状況が大きく変化する中で、人々の健康に寄与する看護職が自律的に学び続ける生涯学習を応援しています。今月はその活動についてご紹介します。

なぜ、看護職は学び続ける必要があるのでしょうか

新人看護職員の皆さまは保健師助産師看護師法に基づき、国家試験に合格し、免許によって看護を实践する権限を与えられました。法律には、専門職となった皆さまが、自らの資質向上を図るために学ぶ必要性が定められています。

保健師助産師看護師法 第28条の2

保健師、助産師、看護師及び准看護師は、免許を受けた後も、臨床研修その他の研修(略)を受け、その資質の向上を図るよう努めなければならない。

さらに、看護職の行動指針となる「看護職の倫理綱領」には継続学習の重要性が述べられています。

看護職の倫理綱領8：看護職は常に個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める

看護職の自律的な学びを支援する本会の活動

法や倫理綱領にあるように、看護職が人々の健康に寄与するために学び続けることは必要不可欠です。そして、学びは実践に生かしてこそ意義あるものとなります。そこで本会では、看護実践能力の強化につながるさまざまな研修の提供、現場の実践を支える都道府県看護協会と協働した集合研修の開催、保健医療福祉および看護政策に関する情報共有や新たな知見の獲得につながる日本看護学会を開催しています。新人看護職員の皆さまは、自律的な学びの機会として有効に活用してください。

自律的に学ぶことに研修を活用する場合

自律的に学ぶ方法の1つとして、新人看護職員を対象とした本会のオンデマンド研修を紹介します。オンデマンドの特徴を生かし、自分に合った活用方法も見つけてください。

NO.134【JNA ラダーレベルⅠ到達のための研修】2021年改訂版
日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準

看護基礎教育で学んだ「看護職の倫理綱領」を覚えていますか。倫理綱領は暗記するだけでは意味を成しません。

例えば研修134は、看護経験が少ない新人の皆さまが、看護ケアの方針に迷ったときに、看護職としてどう判断し、どう行動すればよいかを事例を通し、倫理綱領と関連させて学べる内容になっています。ぜひ視聴してください。

オンデマンド研修の特徴：90分 2,090円（会員価格）

- ◆いつでもどこでも、スマートフォンでも視聴可能
- ◆繰り返し何度でも視聴可能・途中中断も可能
- ◆確認テストや演習シートで学びの成果を確認できる



倫理綱領の理解を深め、行動指針に基づく看護実践の軸を自らの中に構築することはとても重要です。それが看護実践の土台となり、自律的に学ぶことの基盤にもなります。

日本看護協会ホームページ・研修ポータルサイトの活用

本会 HP「生涯学習支援」では、自律的な学びを支えるための情報を多数提供しています。例えば、日本看護学会や特定行為研修、認定看護師に関する情報、研修ポータルサイトによる研修情報や活用情報などです。新人看護職員の皆さまが自律的に学べる機会は、数多く提供されていますので、自身のキャリアを見据え、自分に合った学習を選択してください。

本会では今後も新人看護職員の皆さまの活躍を期待し、自律的な学びの機会を提供し続けます。

本会 HP「生涯学習支援」や研修ポータルサイトは、右記二次元コードからご覧いただけます。ご活用ください。
○本会 HP「生涯学習支援」

